

## 第1回 大分支部「四極山のぼろ会」実施報告

令和6年4月6日（土）に晴れ男がいたのでしょうか、天候が心配されましたが、散会するまで天気が持ち、第1回四極会大分支部「四極山のぼろ会」が実施されました。

本会は前身の「歩こう会」と「登山会」が一緒になった最初の親睦会です。

銭瓶峠駐車場に集合して、加藤英彦名誉会長（大14）の挨拶の後に、20分程時間をかけて登山口へ向かいました。

塩月靖浩幹事（大14）が提案したのぼりが木山廣喜さん（大10）の達筆な文字と山の絵のお陰で流行りのバエー（映え）になりました。

登山口から要所要で休憩を取りながら1時間近くを掛けて頂上に到達しました。

その間零れ桜を噛みしめながら、いちごの花やマムシグサの写真を撮ったりしました。

外国人の方が非常にたくさん遭遇しました、インバウンドの回復を実感しました。

頂上に到着後、集合写真を撮り、昼食を頂きました。幹事の丸井弘美さん（大16回）の奥様が手作りの料理をふるまってくれました。

別府市政100周年記念事業である自衛隊のブルーインパレスのアクロバット飛行を観てから下山する予定でしたが、こんな曇天では飛ばないだろうと、下山を早めました。

それが正解で、散会直後から雨に見舞われましたが、ずぶぬれになることも無く、全員無事に帰宅しました。

阿部通正（大26回）記、松井一博（大18）写真提供

令和6年4月6日に大分支部「四極山のぼろ会」が開催されました。



集合場所銭瓶峠駐車場集合写真



加藤英彦名誉会長(大14)出発前挨拶



零れ桜・一行・ノボリ、いざ登山口へ



登山口からいよいよ登頂



野イチゴの花



マムシグサ



令和6年4月6日に大分支部「四極山のぼろ会」が開催されました。



高崎山頂上集合写真



ゼンマイ発見



下山途中の休憩の合間に木山廣喜さん(大10)のハーモニカに併せて「逍遙歌」を口ずさむ